

組織訪問において
”見える化”について感じたこと

- ”見える化”は組織風土を変える
 - 意欲、やる気が増殖
 - 組織活性化
 - 管理しなくとも変化する
- 最適化が”見える化”でつくられる
 - 自己、グループ、プロセスのコラボレーション
 - プロセスを改善していく力
 - 自己繁殖的に改善が進む

”見える化”で
なぜモチベーションがあがるのか

- 働く人達の価値観の変化
 - 何のために働くかは多様化している
- 自分の評価がみえる
 - 所属する部門、工場、課の状態が見える
 - 自分の他との違いが見える
- 今後進む目標とそこまでの距離が見える
- 組織の実態が見える
 - 組織の業績と仕組みが見える
 - 公平で正しいことが見える

”目で見える管理”と”見える化”

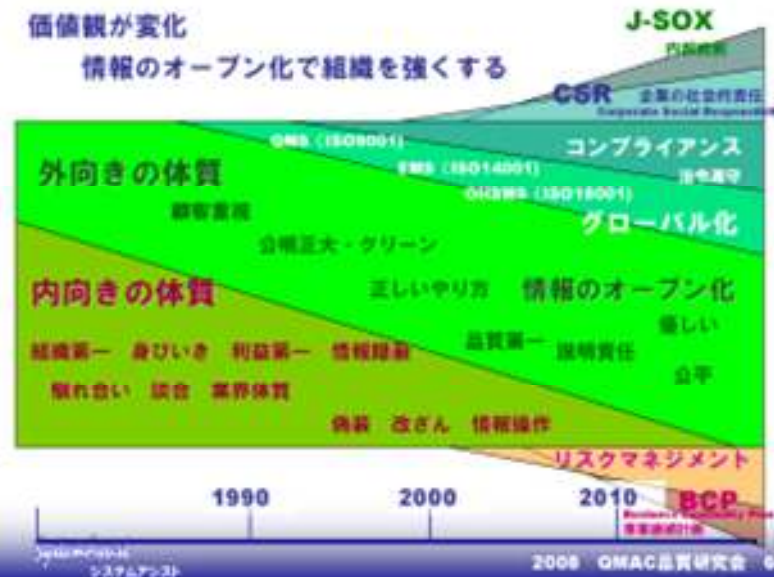
- ”目で見える管理”
 - 工程・納期 | 品質管理 | 作業管理 | 現品管理
 - 設備・治工具 | 材料・部品調達
 - 設計 | 事務 | 改善目標
- ”見える化”は風土をつくるマネジメント
 - 情報のオープン化は風土を変える
 - モチベーションが自発的に向上
 - 正しく公平な組織(コンプライアンス、CSR)
 - 正しいことが正しく伝わる
 - 組織の目標とそこまでの距離を共有する

”見える化”はオープン化から始まる

- 開示する情報の収集が出来ている
 - 基本データの記録は取れている
 - 生産情報はリアルタイムに得られる
 - 情報化が進んでいる
- 情報を分析し表現できる技術がある
 - QC七つ道具
 - ビジュアル化 | 3D | 画像加工
- オープン化できる組織基盤がある
 - コンプライアンス
 - 正しく正当に仕事をしている
 - 公平で正確な組織である

マネジメントにおいてもっとも重要なものは

- 組織のために働く人々のモチベーションをあげることである
 - コミュニケーション(会議 | 飲み会 | 研修)
 - 小集団活動(QCサークル)
 - 競い合い | 表彰 | 昇進 | 成果
 - 遊び心
- モチベーションは組織を活性化する
 - 組織の強さは組織風土や個人スキルにある
 - 意欲的な改善活動
 - 新しいものへの挑戦
 - 自己啓発(スキル)の活性化



情報開示マップ

	負の情報	守秘性の高い情報	囲い込まれている情報
会社に関する情報 (部門 部署) <ul style="list-style-type: none"> 組織戦略 売上げ 利益 他社比較 クレーム 負債 経営者の情報 不祥事 事故 			
研究開発に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> 開発戦略 新技術 新製品 技術情報 			
営業活動に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> 営業ノルマ 顧客情報 市場情報 営業日報 営業戦略 			
生産に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> 生産効率 生産コスト 不良品(不適合品) 仕掛品 在庫品 材料コスト 労務費 環境 廃棄物 負荷 			
個人スキルの情報 <ul style="list-style-type: none"> 成績 順位 資格 学歴 給料 能力 実績 			